



THE Y'S MEN'S CLUB OF

TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

2019-2020 年度
4月号
NO. 367

〒136-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター内 TEL03-3615-5565

強調月間

LT

国際会長：Jennifer Jones (オーストラリア) 主題「より良い明日のために今日を築く」
アジア太平洋地域会長：田中博之(東京多摩みなみ) 主題:「アクション!!!」
東日本区理事：山田敏明(十勝) 主題:「勇気ある変革 愛ある行動!」
関東東部部長：金丸満雄 主題:「紡ぐ ワイズのこころ!」
東京ひがしクラブ会長：飯田歳樹 主題:「円やかワイズ Part II」

特別寄稿

いい湯、沸いています。江東区の銭湯へ!!

野澤一弘

新型コロナウイルスが猛威をふるい、全国の小・中学校を春休みまで休校するとの「号外」が町中に出たのは、2月27日であった。それと同時に図書館また公共の場所で執り行う諸行事も中止という事になった。生活の一部として、各所の催し物に参加していたが、それも閉ざされてしまい、私ははたと困った。それから数日後に電車に乗ろうとしてプラットホームに立った時、掲示板にスーパー銭湯の案内が掲載されているのを見た。その折は軽い気持ちでやり過ごしたが、現在暇を持て余しているし、小池都知事が「感染爆発の重大局面」になっていることに鑑み、密閉・密集・密接の3つの「蜜」を避けるようにと話していたが、銭湯は上記の条件をクリアしていると私は考えた。身近にある銭湯から始めて、江東区には21の銭湯があるが、約一ヶ月半のスケジュールを組み、只今せっせと銭湯詣でを実行している。



少し銭湯について述べてみたいと思う。江戸の湯屋は第一号が現在の日本銀行本店近くにあった、銭瓶橋(ぜにかめばし)の傍に開業したものとされており、1804年の文献には、523軒江戸に存在していたと書かれている。関東大震災(1923年)の復興期には、それ迄質素な造りであったが、銭湯を唐破風(からはふう)様式の豪華な銭湯にしたところ評判となり、それ以降建てる銭湯の多くが宮造りとなった。富士山のペンキ絵については、洋画家の川越宏四郎に画いて貰ったのが最初で、富士山を地元で仰ぎ見られると好評であったが、関東から離れた地域ではあまり見られない。

皆さんも、お近くの銭湯で富士山を眺め湯に浸かり、癒されてはいかがでしょうか・・・

✪ 今月の聖句 ✪

『求めなさい、そうすれば与えられる。捜しなさい、そうすれば見つかる。門をたたきなさい、そうすれば開かれる。』

—マタイによる福音書7章7節—

4月例会は新型コロナウイルス感染防止対策により開催の中止を決定いたしました。

3月例会

出席者 12名 ゲスト 3名
会員出席数 9名
在籍数 15名
(広義会員1名)

ひがし会員出席率 64%

スマイル

3月 19,000円

累計 136,000円

プルタブ累計

17.63kg

2019-2020 年度役員

会長 飯田歳樹
副会長 須田哲史
書記 金丸満雄
会計 千代一郎
担当主事 沖 利柯

野本多美子

戦災資料センターボランティアの二瓶治代さんの卓話をお聞きし、20年以上も前にクラブで作った「セノタフマップ」を思い浮かべました。下町を襲ったB29による焼夷弾はまるで赤い火の滝のようであり、焼きつくされた家々や人々の中で、やっと命が助かったことを話されました。私たちは東陽町センターを基にするボランティア団体です。一夜にして10万人もの人々の尊い命を奪った東京大空襲、江東区内にある38もの慰霊碑には今でもお花が供えられています。セノタフマップ作りは、私たちの使命だったのではと思っています。覚えているのは、南砂にあった自動車会社の大きな土管の中で火の粉を避けて助かった方の話。同級生のお母さんは、海辺町に住んでいて親・兄弟とはぐれ、浅草まで歩いて逃げた話。二瓶さんの空襲の夜の体験談は、私の取材させていただいた方々のお話とダブって、戦争はいけない！平和な世界をと願わずにはいられません。二瓶さんがおっしゃった「75年の間、戦争がなかったことは幸せでした」この言葉の75年を、80年・100年と続けなくてはと思いました。



※コロナウイルス感染防止対策として、一人一人の間隔を充分にとり例会を行いました。

3月8日開催の第21回ピースウォークは、コロナウイルス感染防止により中止としたが、ひがしクラブ有志メンバー6名で慰霊碑巡りを行った。朝から冷たい雨が降る中、飯田会長の計らいで車にて巡ることができ会長に感謝します。予定の門前仲町を10時にスタートし、浄心寺→良信院→善徳寺→法乗院→永代二丁目慰霊碑→黒船橋慰霊碑→西須崎橋慰霊碑のコースを巡った。ピースウォークは途切れることなく21回目を終了した。



ウォーク後、3月例会の日程を変更して12時より東陽町センターYMCAホールにて開会。卓話者に二瓶治代さんを招き、東京大空襲の映像と体験談をお聞きした。



担当主事 沖 利柯

▼ミャンマー訪問報告

2月23日～3月1日、松本数実さんや東陽町コミュニティセンターの木村卓司さんほか計4名の職員がミャンマーYMCA同盟、及びネピドYMCAを訪問しました。ネピドYMCAが行うモバイルクリニック等のプログラムの視察、ネピド近郊の村訪問、植樹や道路舗装のボランティアワーク、役員や教会に連なるユースとの交流の時間をもちました。今後、ユース同士の交流やスタディーツアー実施の可能性について検討していくこととなりました。

▼下町子どもダイニングミニ菜園！

先日金丸さん、今井さんが東陽町センターテラスサイドにある少しの場所ですが、土を耕し、農園として使えるようにしてくださいました。またその後今井さんはお孫さんをつれてじゃがいもの種付けをくださいました。今後はきゅうりやトマト、ナスやゴーヤ、そしてパクチーなどおいしそうな野菜が植えられる予定です。美味しい野菜を使った食事に子供たちが笑顔になる姿が早く見たいものです。

▼東陽町コミュニティセンターについて

新型コロナウイルス感染防止のため、4月1日～12日まで東陽町コミュニティセンター事務所を閉じております。スタッフは必要に応じて出勤したり、原則は在宅で勤務をしております。また、4月のプログラムもおもちゃ病院を除いて全て中止を決定いたしました。大変残念ですが、一日も早くこの事態が収束することを願っております。なお、メールは随時チェックしておりますので、緊急の場合は沖にお電話かメールをいただければと思います。

新年度東陽町コミュニティセンタースタッフ体制に変わりはございませんが、木村さんが東雲コミュニティセンターとの兼務となりました。皆様にご迷惑をおかけしないように業務を進めてまいりたいと思います。どうぞ、今年度もよろしくお願い致します。



★今月の誕生日

高野たづ子メット (2日)

★今月の結婚記念日

沖 利柯・明 夫妻(29日)

高野真治・たづ子夫妻(27日)

